

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第11回）

議事録

令和3年12月24日

官邸2階小ホール

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標推進本部第11回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事1「SDGsアクションプラン2022」及び議事2「第5回ジャパンSDGsアワード受賞団体」について、滝崎内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【滝崎副長官補】

まず、「SDGsアクションプラン2022」について、お配りした横型の資料に基づき御説明いたします。

資料の1ページ目に「SDGsアクションプラン2022」作成に当たっての基本的な考え方を記載しました。

新型コロナウイルス感染症による厳しい影響から国民の命と暮らしや雇用を守る万全の対応を行うこと、国民生活と経済を支え、更にはデジタル化を始めとした新たな技術を活用し、全ての人々が生きがいを感じられる、新しい社会を創り上げていく必要があることなどを掲げています。

2023年には、日本がG7議長国を務め、国連でSDGサミットやユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ハイレベル会合等のSDGsに関する大きな節目の会合が開催されることも念頭に、2022年はこのアクションプランに基づいてSDGs達成に向けた国内実施・国際協力をより一層加速していきます。

次に資料の2ページ目を御覧下さい。このような考え方にに基づき、2022年に取り組む施策を5つのPに基づき整理し、各事業の実施によるSDGsへの貢献をより一層「見える化」することに努めました。

「第5回ジャパンSDGsアワード受賞団体」については、313件の中から資料3ページ目と4ページ目に記載している団体を、先程、総理、官房長官、外務大臣から表彰いただきました。日程の都合上、事後となり恐縮ですが、御了承いただければと思います。

以上です。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、この場で御発言を希望される閣僚のみなさまを、順次指名させていただきます。

【林外務大臣】

来年は、第8回アフリカ開発会議など、SDGsに関わる様々な国際会議が開催されると

ころ、日本の取組を国際社会にしっかりと発信し、国際社会との連携を強化していきたいです。特に、新型コロナや気候変動等の地球規模課題において、脆弱な立場に置かれた人々が影響を受けています。人間の安全保障の理念に基づき、「誰一人取り残さない」取組を加速していきます。

【野田国務大臣】

ジェンダー平等は SDGs の目標の一つであり、かつ全ての項目で不可欠の視点とされており、女性版骨太の方針に基づき政府全体で強力的に推進します。

また、子供の貧困対策を推進するとともに、SDGs 未来都市の選定、官民連携の促進や金融面の取組等を進め、SDGs を原動力とした地方創生を推進します。

【鈴木財務大臣】

財務省は、外貨準備の運用に ESG 投資の視点を入れるとともに、JBIC や国際開発金融機関とも連携し、脱炭素化に向けた支援に取り組んでいます。

コロナからの回復や将来のパンデミックへの対応のため、質の高いインフラ投資や UHC の推進も続けていきます。

【斉藤国土交通大臣】

国土交通省は、共生社会実現に向けた公共交通機関等のバリアフリー化や、デジタル技術で都市問題の解決を図るスマートシティの取組、カーボンニュートラルポート形成等による気候変動対策などを推進し、引き続き幅広い分野で SDGs 達成に貢献してまいります。

【金子農林水産大臣】

環境負荷の低減を図りつつ、食料や農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」の実現や「食品ロスの削減」に取り組み、SDGs の理念を達成するため、農林水産省として引き続き積極的に貢献してまいります。

【金子総務大臣】

総務省は、SDGs の進捗を測定するための指標の整備を推進しています。

今般、子どもの健康や教育に関連するものなど、新たに 11 指標の公表が可能となりました。関係府省の御助力に御礼申し上げますとともに、引き続き指標の整備を進め、SDGs に貢献してまいります。

【岸防衛大臣】

防衛省では、平和と安心・安全社会の実現のため、国連 PKO 部隊派遣国の要員への能力向上支援の取組や、「自由で開かれたインド太平洋」の下での活動に加え、防衛省・自衛隊の施設における再生可能エネルギー電力の調達促進など、SDGs の取組を推進してまい

ります。

【山口環境大臣】

2030 アジェンダの5つのPのうち「Planet」に関して、気候変動や海洋プラスチックごみなど地球規模の環境課題に全力で取り組むとともに、地域課題を解決し、地方創生に資するような地域の脱炭素化を推進します。

【萩生田経済産業大臣】

カーボンニュートラルの実現に向け、温暖化対策を成長に繋げるクリーンエネルギー戦略を策定します。更に、アジアの実情を踏まえたトランジションを支援します。

また、各国の措置の予見可能性を高める国際協調等、企業が人権尊重に積極的に取り組める環境整備を進めます。

【後藤厚生労働大臣】

SDGsの実現のため、新型コロナウイルス感染症対策としても重要性が改めて高まっているUHCの推進や、働き方改革、女性活躍等の着実な推進を行っていきながら、人々の健康と暮らしを守るために必要な取組を行ってまいります。

【古川法務大臣】

法務省では、SDGsの達成に向けて、多文化共生社会の実現、世界一安全な国、日本の実現、虐待・差別対策、頼りがいのある司法制度の実現、法の支配や基本的人権の尊重等の普遍的価値を国際社会に浸透させる司法外交の推進などに取り組んでまいります。

【二之湯国務大臣】

SDGsの達成に向け、防災、国土強靱化担当として、国内外ともに防災・減災、国土強靱化の取組を進めます。

また、海洋政策担当として、持続可能な海洋のため、洋上風力等を通じたカーボンニュートラルの実現、大阪ブルーオーシャンビジョンといった取組を継続します。

【末松文部科学大臣】

文部科学省としては、SDGs全ての目標に貢献する持続可能な開発のための教育や、SDGs達成のための科学技術イノベーションを推進してまいります。また、持続可能な社会に寄与するスポーツや文化の振興を推進します。

【西銘復興大臣】

福島県浜通り地域に新設する国際教育研究拠点については、「創造的復興の中核拠点」として、また、我が国の産業競争力の強化や、日本と世界に共通する課題解決に資するイノベーションの創出に貢献するものとなるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

【山際国務大臣】

今般の経済対策により「成長と分配の好循環」による新しい資本主義を起動させましたが、来春には「コロナ後の新しい社会の開拓」も含めて新しい資本主義の全体のグランドデザインとその実行計画を取りまとめます。

その際、SDGs の取組は重要な要素であり、関係各位と連携して検討を進めたいので、よろしくをお願いします。

【若宮国務大臣】

食品ロス削減等、身近なことから消費者の意識と行動を変容させ社会の変革につなげる他、社会全体での合理的配慮の提供を目指す改正障害者差別解消法の施行準備を進めます。

また、2025 年大阪・関西万博では、開催に係る取組を通じて SDGs の達成に貢献するとともに、更にその先の社会像を示してまいります。

【堀内国務大臣】

東京大会では、再生可能エネルギー電力 100%の実現や、水素の聖火台や聖火リレートーチ等への活用とともに、大会の CO2 をゼロ以下にするカーボンマイナス大会を実現するなど、先行事例を創出・発信しました。取組がレガシーとして継承されるよう国内外に発信し、SDGs を推進してまいります。

【小林国務大臣】

科学技術・イノベーションにより開発途上国等の SDGs に貢献するため、国連と連携し、現地と日本企業が参画した解決策の検討を進めていきます。UHC の実現や公衆衛生危機への対応等に向けて 6 月までにグローバルヘルス戦略を策定します。

【牧島デジタル大臣】

デジタルの力により、個人の能力発揮、心豊かな暮らし、地域課題の解決、経済成長をもたらし、持続可能な社会の基盤を構築していきます。

本日、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」をとりまとめる予定です。デジタル・規制・行政改革を推進し、SDGs の達成に貢献してまいります。

【内閣官房長官】

私の担当する分野に関して、国際平和協力等でも SDGs に貢献します。

他に御発言がないようでしたら、「第 5 回ジャパン SDGs アワード受賞団体」についての報告を承認し、「SDGs アクションプラン 2022」について本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。
最後に、総理から御発言いただきます。

【内閣総理大臣】

経済・社会・環境問題に対して包括的に取り組む SDGs は、新型コロナウイルス感染症、気候危機という未曾有の危機を乗り越える上で重要な羅針盤となります。

「新しい資本主義」は、資本主義がもたらす弊害を是正し、持続可能な経済社会を創り上げ、社会課題の解決を、新たな成長の源泉としていくというものであり、まさに、SDGs の達成にもつながる取組です。

市場や競争に全てを任せるのではなく、市場の失敗や、外部不経済を是正する仕組みを、「成長戦略」と「分配戦略」の両面から、資本主義の中に埋め込み、資本主義がもたらす便益を最大化していきます。

こうした取組によって、我が国において、「成長と分配の好循環」による持続可能な経済を生み出す「新しい資本主義」をいち早く実現し、SDGs の達成という、世界、そして時代が直面する挑戦を、先導してまいります。

関係閣僚におかれては、このような考えに基づき定めた今般のアクションプランを着実に履行し、全ての人が生きがいを感じられる、新しい社会を実現するよう、よろしくお願い申し上げます。

【内閣官房長官】

それでは、以上をもって、持続可能な開発目標推進本部第11回会合を終了します。